

第4回定例研究会

日時／令和二（2020）年2月18日（火）10:30~16:30

場所／大阪市立大学・文学部棟2階・208教室（入場無料、聴講歓迎！）

◆挨拶（プロジェクトの方針+前回までの説明（10:30~10:45））

◆シンポジウム（午前の部）（10:45~12:00）

「摂関期の和歌序について」

山本真由子（OCU文・准教授／国語国文学・中古文学）

「近代日本文学におけるフェアリーの受容——イメージと翻訳」（仮）

永井泉（UCRC特別研究員／本学大学院・国語国文学専修）

《ランチ休憩》（懇親会）

（12:00~13:00）

◆シンポジウム（午後の部）（13:00~15:30）

「世界史叙述メディアの新地平——学習歴史漫画を超えて」

草生久嗣（OCU文・教授／西洋史学）

「ドレフュス事件からみる「ユダヤ」と「文学」」

鈴木重周（成城大学グローバル研究センターPD／UCRC研究員）

《休憩》（10分）

「世紀末フランスと女優の下克上——サラ・ベルナール研究から」

白田由樹（OCU文・准教授／フランス語圏言語文化学）

「『今鏡』と『大鏡』における后妃描写の比較」（仮）

小笠原愛子（UCRC研究員／国語国文学・中古文学）

◆総合討論および総括（15:30~16:30）

【プロジェクト連絡先】

堀まどか（文学研究科・文化構想学・アジア文化コース）

horimado@lit.osaka-cu.ac.jp 06-6605-2198（研究室直通）